

## 苫小牧東部地域開発検討会(第1回)の議論経過

1 苫小牧東部地域開発の経緯について  
事務局からの説明。

2 苫小牧東部開発新計画の進め方【第2期】のフォローアップ

- ・進め方【第2期】において、特に目標が達せられなかった部分の要因を分析した上で、今後の計画に反映すべき。
- ・外資系企業も視野に入れた産業の誘致に取り組むべき。そのためにはプレーヤーを意識することが必要ではないか。
- ・自動走行技術の開発は、積雪寒冷地に対応した実証試験施設の誘致とともに、運転手の高齢化対策やまちづくりの観点から公道等での実証実験を誘致してはどうか。
- ・北海道には農産物の優れた加工技術を有している企業が多いので、産地との連携を図る場として苫東地域を活用するのがよいのでは。
- ・苫東地域は資源依存型の産業立地に優位性があり、農水産物の特定成分を健康食品・医療品に活用する事業に成長が見込まれるのではないか。
- ・100%再生可能エネルギーでものづくりを行うチームを作るなど、苫東地域から発信する仕掛けが必要ではないか。
- ・人材確保のため、情報化・省力化に対応する人材の育成と人材を集めるためのアメニティの整備、両面での取組が必要ではないか。